

万葉園だより

第29号

平成23年1月7日発行

編集・発行 社会福祉法人 南相馬福祉会

特別養護老人ホーム 万葉園

〒979-2334 福島県南相馬市鹿島区西町三丁目3番地
TEL(0244)67-1551 FAX(0244)67-1552
TEL(0244)67-1554(たんぼぼ直通)
E-mail manyouen@orion.ocn.ne.jp
URL <http://minamisoma.ask-daiko.co.jp/>



〔事業内容〕
特別養護老人ホーム 万葉園……………定員50人
グループホーム たんぼぼ……………定員9人



年頭のご挨拶

万葉園・たんぼぼ施設長

大内 敏文

新年、あけましておめでとございます。

ご利用者、ご家族の皆様におかれましては、健やかに平成23年の初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、猛威を振りましたインフルエンザの影響もなく穏やかな1年を過ごす事が出来ました。

また、平成22年度の施設目標として掲げました「寝たきりになってもトイレ」を目標に日中のオムツ使用率ゼロの取り組みも順調に進捗しております。身体拘束廃止も目標のゼロを達成することができました。

現在、平成24年度からの介護保険制度のあり方や報酬について国の部会で論議されておりますが、特養の多床室の室料の負担増や高所得者の1割負担から2割負担など喜ばしいことばかりではないようであります。

このように厳しい時代こそ、ご利用者、ご家族、地域の皆様と手を携えて、質向上のための課題に取り組み、心豊かで笑顔で過ごせる施設づくりを目指して行きたいと考えております。

結びに、皆様にとりまして、健康で幸多き年になりますようご祈念申し上げます。念頭のご挨拶といたします。



万葉園・たんぽぽ運動会



「今年こそは！」と、昨年に続き出場されたご利用者の息巻く姿

秋といえば運動会!! 今年も万葉園・たんぽぽ運動会を、10月15日(金)に開催しました。ご利用者から「運動会あるんだな?楽しみだな。」との声が聞かれ、職員も期待に込めるべく計画と準備に力を入れました。今年も、福寿園デイサービスより借用した「モグラ叩きゲーム」と「玉入れ」という新たな競技を取り入れて、いざ本番へ!



「今年こそは!」と、昨年に続き出場されたご利用者の息巻く姿... 全競技を終えて、今年も「たんぽぽチーム」の優勝で幕を閉じました。競技に臨むご利用者と声を枯らしながら応援する職員とが、一つになつたかけがえのないひと時となりました。来年の運動会をこころしく期待!!

など、皆一生懸命にゴールに向かい、盛り上がりました。続いての「モグラ叩きゲーム」は、盤上の光ったモグラの絵をタッチするというゲーム。ご利用者にとってはじめての挑戦ともあり、戸惑いながらも光るモグラを真剣に押し、競技が終了してもなお、いつ光るのかと盤上からしばらく目を離さない一幕も...。次は職員による競技で、「粉あめ取りゲーム」です。小麦粉の中に埋められたあめを、手を使わずに取るゲームで、各チームの代表職員が参加しました。普段は仲が良い職員たちも、このときはばかりは本気で競い合いました。小麦粉で真っ白になった顔を見てご利用者は爆笑の渦にのみ込まれました。最後の競技は「玉入れ」です。昔を懐かしみながら、そして優勝に向けて一生懸命に玉を籠に投げ入れられました。

秋

お泊まりツアー

春

先日11月24、25日、浪江の「いこいの村なみえ」にご利用者と共にお泊まり旅行に行ってきました。



万葉園を出発して昼食を摂り、途中で高瀬川溪谷に立ち寄って紅葉を見てきました。紅葉を見るにはやや遅く散っているところもありましたが、それでもきれいな紅葉を見ることが出来ました。



「いこいの村なみえ」について、豪華な夕飯をお腹いっぱい食べ、お風呂にも浸かり、ゆっくりとした時間を過ごすことができました。

2日目は、「浪江サンプラザ」で買い物を楽しみました。服を鏡で合わせ時間をかけながら真剣に選んでいました。途中寄り道して請戸漁港や烏崎の浜辺を見て、無事万葉園に到着しました。

帰園後は他のご利用者や職員に「楽しい旅行だったよ。」と旅行の話を楽しんで話され、私達職員にとっても、良い旅行になったと思えました。



万葉園で初となる一泊旅行を行いました。旅行先は、『いこいの村なみえ』という障がいがある方でも利用できるバリアフリーの施設です。



1日目、宿へ向かう途中かっぱ寿司で昼食をとり、その後は浪江サンプラザでのショッピング。それから請戸漁港に立ち寄り、潮の香りを嗅ぎ、石原裕次郎の真似をして写真撮影をされ、この旅行をととても満喫されているようでした。

いこいの村に到着してからは、お部屋のお風呂に入られ、ご利用者はリラックスモード。その後、豪華な夕飯を美味しいビールとともにたくさん堪能しました。

2日目は、『陶芸の杜 おおぼり』に立ち寄り、大堀相馬焼教室に参加しました。ご利用者の一人は、以前陶芸教室に長年通っており、その時に使っていた道具を持参し、プロさながらの手つきで、とても素晴らしい作品を作られていました。作成後は、焼きあがるのが待ち遠しい様子でした。

帰りの車内では、「こんな素晴らしい所に連れてきてもらって、ほんとに嬉しかった」と、とても感謝され、涙される姿も見られました。今回の旅行は大成功だったのではないかと思います。



たんぽぽです



11月22日(月)にご利用者全員で相馬の釣堀に出掛けてきました。前回より時期的にやや遅く、寒くなければいいなと思いましたが幸い天候にも恵まれました。お弁当のおにぎりや芋煮の材料を準備し、さあ出発。車中、干し柿があちこちの軒先に吊るしてありどれもおいしそうです。今年は柿が豊作とかで、たんぽぽでも施設長から柿をいただき、干し柿にしたので美味しく出来るか楽しみです。

料を火に掛けることさっそく釣り開始です。釣り糸を垂れるとあっと言う間に釣り上げる方もいれば、釣る場所が近すぎて糸がからまり釣竿を交換するハブニングもありました。ともあれ利用者全員が魚を釣る事が出来ました。中には一人で4匹も釣り上げた方もいて大いに盛り上がりました。

釣った魚は店の方に焼いていただき芋煮と一緒にいただきました。まあ釣った魚の美味しいことと云ったら…。皆さん夢中で頬張っていました。また店主さんの御好意で、思いがけず歌の披露もあり、涙を流し喜ばれるご利用者もいらっしやいました。



食後は思い思いに子犬と遊んだり、付近を散策されたりとゆったりと穏やかに時間が過ぎていき、ご利用者の表情も柔らかくほっとする一日を送ることが出来たのだと思います。

医務室コーナー

感染性胃腸炎の発生が増加する時期になりました。なかでもノロウイルスは、冬季の感染性胃腸炎の原因となるウイルスで幅広い年齢層に罹患する傾向があります。手指や食品などを介して、わずかなウイルスが口の中に入るだけでも感染するため、ヒトからヒトへの感染力も非常に強いウイルスです。

感染から発症までの時間は24から48時間で、激しい嘔吐や下痢により急激に水分を失うため、特に乳幼児や高齢者では脱水症状に気をつける必要があります。また、健康な方は軽症で回復しますが、子どもや高齢者などでは重症化したり、吐物を誤って気道に詰まらせて死亡することがあります。

万葉園では、吐物や排泄物からの二次感染や飛沫感染を予防し、面会等で来園される皆様とともに予防対策に努めていきます。

インフルエンザやノロウイルスからご利用者を守るため、咳、下痢、嘔吐等の症状がある方は、面会を控えていただく場合がありますのでご理解をお願いいたします。

秋の日帰り旅行

11月26日に相馬の「晴風荘」にご利用者と日帰り旅行に行ってきました。参加したご利用者は以前から楽しみにしていて、自身で「日常生活の中で楽しんで旅行に行く」という目標をたて、職員と共に頑張ってきました。



職員側では“無理のない旅行にする”という事でご利用者の体力を考慮し、個室を準備して頂き、布団の準備もしてもらいました。

晴風荘に到着すると、少し疲れた表情が見えたので昼食まで布団で休んで頂きました。その間、ご利用者の若い頃の話や戦争の話、旦那さんとの思い出、辛かった事などを話して頂き、聞いていたら涙ぐんでしまいました。

昼食はご馳走が並び、お刺身を食べて「あ～うまいな～。おいしいおいしい」と喜んでいました。

旅行中はご利用者に終始笑顔で過ごしてもらった事が出来ました。日頃、体力があまりない方など、無理なく旅行に行ける事を私達職員も学び、新たな目標も持つ事が出来ました。一番はご利用者に楽しんで参加して頂く事。来年も一泊や日帰りでのいろいろな旅行を計画して、少しでも多くのご利用者に参加して頂けるよう努めていきたいと思っておりました。



クリスマス会



12月24日にクリスマス会を行いました。ツリーを飾り、音楽をかけ、クリスマスムードは完璧です。

職員が慣れないながらも一生懸命にケーキ作りをする姿を、ご利用者の皆さんが心配そうに見守っています。出来上がったケーキはとても可愛く仕上がったようでした。久し振りのデコレーションケーキに、ご利用者の皆さんも大喜びで召し上がっていました。大きなケーキを一生懸命頬張り、おなかいっぱい食べる姿が見られました。



おいしいケーキを食べた後はサンタクロースが登場し、ご利用者全員にプレゼントを配りました。ご利用者同士で「おれはこれをもたらしたよ。みんなは？」と自分のもらったプレゼントを楽しそうに見せ合っていました。

皆さんとても明るい表情で楽しまれており、良いクリスマスを過ごせたようです。



ボランティア紹介

平成22年9月15日～平成22年12月11日

●アニマルセラピー

今野 亜紀様 高橋 香理様

●随時 万葉園ボランティア様

(洗濯たたみ、クラブ活動、演奏など)



寄付金

小野田 マツ 様
鷹 新一郎 様

平成22年9月12日
平成22年12月11日



寄付

門馬 幸子 様
しいな脳神経外科クリニック 様
由井由美子 様
NPO法人 ふきのとう 様
ヘアーサロン小川 様

平成22年9月12日
平成22年12月11日

事務用イース
雑巾
エーベ券
みかん

厨房より

愛と栄養を込めて

『たら腹食う』の美味しい季節になりました。

私たちが何気なく使っている『たら腹食う』とは、魚の中でも特に大食漢と言われている『鱈』から由来されているそうです。

『鱈』は、雪のような白身の他にも、白子・たらこ・明太子・棒鱈・かまぼこなどの練り製品・桜でんぶなど様々な種類があります。

大食漢で雑食（餌の種類を選ばず、何でも胃袋に詰め込むそうです）の割には、身は淡泊で上品な味です。

人間に限らず、魚も見た目では判断してはいけないということでしょうか？

同じく旬のアンコウやドンコも、見た目からはとても上品な感じはしません。しかし、あのような姿では、やはり最初に食べた人は、勇気のある人だったなあと思います。

万葉園では、特に蒸し料理に使用しています。



鱈のかぶら蒸し

旬のかぶと一緒にどうぞ。

マナーの事務

●休日支払対応日

万葉園・たんぼぼの1月～3月の休日支払対応日をお知らせします。

1月16日(日)、22日(土)

2月19日(土)、20日(日)

3月19日(土)、20日(日)

平日では施設利用料のお支払いに来られない、という方は右記の日程で来園ください。

午前8時30分から午後5時30分までの間、事務で対応いたします。また、ご利用者の通帳への入金依頼も、併せて受付いたします。

日程は変更となる場合もありますので詳しくはお問い合わせください。